

会 議 録

会議名	平成 28 年度 第 5 回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成 28 年 8 月 23 日 (火) 19 時 05 分～20 時 35 分	
開催場所	301 会議室	
出席者	委員	伏見委員長 竹ノ内副委員長 大澤委員 仙澤委員 中山委員 中村委員 岩野委員 外山委員 百瀬委員 北村委員 吉村委員
	事務局	越学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 学童保育の保育内容について (2) その他 3 閉会	
配布資料	・子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業分)について(市) ・民間委託評価報告書等に係る意見及び要望書(学)	
会議結果	1 民間委託評価報告書等に係る意見及び要望書について (学) 学保連において、各学童父母会より意見及び要望を以下のとおりまとめたので、これに対する市の対応方針を次回、報告いただきたい。 (1) 再発防止に向けた契約関係手続及び書類の見直しについて ア 事業者選考委員の構成について イ 事業者選考基準における改正事項 ウ 事業者募集要項における改正事項 エ 業務委託事業概要における改正事項 (2) 委託料の増額について (3) 補助金の活用について (4) 今後の民間委託計画について ア さわらび学童について イ ほんちょう学童について ウ みなみ学童について エ 委託の引継ぎ期間について オ 委託計画全般について (5) 財政効果の有効活用について ア 大規模化対策について イ 障がい児の受け入れ枠撤廃に伴う指導員の加配について (6) 学童保育所における定期清掃及び設備保守等の維持管理の実施について (市) 1 か月の短い期間にも関わらず、業務委託評価報告書に対するご意	

見及びご要望をまとめていただき感謝する。来月の運営協議会で市の対応方針等を報告したい。

2 子ども・子育て支援金（放課後児童健全育成事業分）について

（市）前回の運営協議会で依頼のあった障がい児の受け入れに伴う補助金の資料である。放課後児童健全育成業として、個別に8つの事業があり、その内、障がい児の受け入れに伴う事業について補助金の内訳を示した。

障害児受入推進事業分として、11所分合計12,554千円（1所あたり1,141千円）、障害児受入強化推進事業分として、1所が該当し284千円である。

（学）どこに充当されるか。

（市）受入推進事業分は障がい児の人数に応じてということではなく、障がい児を受け入れている学童保育所数に応じて歳入となり、障がい児対応の職員の人件費（非常勤嘱託職員又は臨時職員）に充てている。受入強化推進事業分は5人以上の障がい児を受け入れる場合、追加して障がい児対応の職員を配置した際、追加した職員の人件費に充てている。

（学）補助金の補助率は。

（市）国1/3、都1/3、市1/3である。資料は国と都の合算額を記載している。

（学）障がい児について、補助金の実施要綱ではどのように定めているか。

（市）実施要綱では、障がい児について、療育手帳若しくは身体障害者手帳を所持する児童、特別児童扶養手当証書を所持する児童又は、手帳等を所持していない場合であっても、医師、児童相談所、発達障害者支援センター等公的機関の意見等によりこれらの児童と同等の障がいを持っていると認められている児童とするが、柔軟に対応することと定めている。

（学）27年度から原則として指導員の加配は撤廃されたが、障がい児に対応する指導員を配置するための国の補助金の規定では「柔軟に対応すること」と定められている。これを学童保育所入所申請の手引きに追記してはどうか。自分の子どもが障がい児であるか、保育園等の段階では不明であるが、その可能性を有する場合、学童に預けてどのような対応となるか知らない人が多く、周知する必要がある。

（学）障がい児を受け入れるにあたり、非常勤嘱託職員と臨時職員とどちらの方が負担にならないか。

（市）非常勤嘱託職員の方が安定的ではある。

（学）障がい児対応の職員だけでなく、施設・設備等にも配慮いただきたい。

（市）障がいのある児童の入所対応については、報告書にもあるとおおり今後の検討課題としている。

(学) 障がい児の放課後の居場所は、学童保育所のほかに何かあるか。
(市) 放課後等デイサービスとして、きらり、小金井おもちゃライブラリー、おもちゃ箱こがねい、おもちゃ箱上水桜、びいぼがある。

3 学童保育所利用者アンケートについて

(学) 昨年度、学童保育所利用者を対象に9月にアンケートを実施した。今年度はどのように実施するのか。アンケート内容はできるだけ変えない方が傾向が捉えられる。

(市) ご意見を踏まえ、アンケート内容を課内でも検討する。9月の運営協議会で確認後、10月に実施できるよう準備を進めたい。

4 ほんちょう学童保育所及び今後の委託スケジュールについて

(市) 現時点ではお示しできるものがない。然るべき時期に報告する。

5 学童の大規模化について

(市) 現在、学童保育所入所児童が増加している。現在は全入を維持しているが、今後どういった方策が考えられるのか。全入の維持というのは方針としてあるが、学童保育所利用者はどういった考えをお持ちなのか、忌憚のないご意見を伺いたい。

(学) 放課後子ども教室の充実はどうか。少しずつでも増やしていくのはどうか。

(学) その他、放課後の居場所の充実。

(学) 民設民営の学童保育所を誘致する考えもある。

(市) 引き続きご意見をいただけたらと思う。

6 次回日程について

9月28日か29日